

世界金融危機と朝鮮の国内経済

朝鮮社会科学者協会研究員 金東識

金融危機が世界を席捲している。これによって世界の多くの国が経済発展において大きな打撃を受けており、資本主義の世界経済全般が沈滞状態にある。しかし、朝鮮は金日成主席の誕生100周年となる2012年に社会主義の強盛大国の大門を開くという高い目標を提起して、その実現のための闘争を力強く繰り返している。

世界経済が米国の金融危機によって沈滞状態にある中で、共和国¹が経済建設においてより高い目標を提起したということは、朝鮮の国内経済が金融危機の影響を受けていないことを示している。では、なぜ朝鮮の国内経済は金融危機の影響を受けていないのであろうか。

それは第一に、朝鮮が民族経済の自立性と主体性を絶えず強化してきたためである。

金日成主席は次のように言った。「最近、わが国の経済が世界的な経済的波動にも微動もしないで、継続して高い速度で前進していることは、わが党²の自立経済建設路線がどれくらい正当であり、わが国に用意された自立経済、主体工業がどれくらい威力のあるものなのかを明確に示しています。」（『金日成著作集』58巻89頁）

民族経済の自立性と主体性は、外国に依存せず、自国民の需要を自国の生産によって充足させていく、自立的民族経済の本質的属性である。自立的民族経済は、他人に隷属せず、自ら歩いていく経済、自国の人民のために服務して、自国の資源と自国の人民の力に基づいて発展する経済である。つまり、自国の人民の要求と利益に応じて、自国の人民自身の力によって管理、運営され、自国の天然資源と具体的条件に応じて発展する経済が、まさに自立的民族経済なのである。

民族経済の自立性と主体性は、民族経済の依存性、隷属性と対置される。対外依存度が高い経済や隷属経済は、その構造的脆弱性によって、外部の経済的波動に簡単に巻き込まれる。しかし自国の資源と自国の技術に基づいて、主体的に建設する経済は、どのような経済波動にも揺れること

もなく、安定的に発展していくことになる。そのため、朝鮮は解放後から今日まで、経済建設のすべての歴史的行程において民族経済の自立性と主体性を絶えず強化してきた。

金日成主席の賢明な指導によって、朝鮮における5ヵ年人民経済発展計画³が期限前に完遂され、民族経済の骨幹をなす重工業の威力ある土台が用意されたし、ひきつづき自立的な工業体系の確立のための第一次7ヵ年人民経済発展計画⁴が遂行された。

朝鮮が経済相互援助会議⁵（コメコン、セフ）に加入することを強要した大国主義者らの要求をきっぱりと排撃して、多面的であり総合的な工業生産構造を確立したことは、自立的工業体系を確立するうえで重要な意義を持った。朝鮮は、世界の多くの国が「石油経済時代」としながら、石油を燃料とする発電所を建設して石油化学工業を創設した時にも、自らの豊富な水力資源と石炭資源を利用する水力発電所と火力発電所を建設して、電力問題を円満に解決することができる土台を作った。

石油資源を開発できない状況の中で、外国から石油を導入して、石油化学工業を発展させる方向ではなく、自国に豊富にある無煙炭と石灰石で（石炭）化学工業を発展させる方向に向かった。自国の豊富な原料、燃料基地に基づいて民族経済の自立性と主体性を強化したことによって、朝鮮の経済は1970年代にあった世界的な石油危機の時にも、どのような迂余曲折もなく、絶えず高い速度で発展することができた。

第一次7ヵ年計画期間に工業生産構造がより一層完備され、その技術的土台が強化され、自国の豊富な原料基地に基づく多面的で総合的な自立的工業体系が確立されることによって、朝鮮はついに社会主義工業化という歴史的偉業を成功裡に成しとげた。

社会主義工業化を成功裡に実現させたことにより、共和国は経済建設と国防建設、そして人民生活に必要な工業製品と農業生産物に対する需要を自国で円満に充足させることができるようになった。朝鮮は、これを土台にして1970

¹【訳者注】ここで言う「共和国」とは朝鮮民主主義人民共和国を指す。

²【訳者注】ここで言う「わが党」とは朝鮮労働党を指す。

³【訳者注】1957年～61年まで計画された経済計画。社会主義を全面的に建設していく基礎を作ることが目標であった。1960年に繰り上げ達成された。

⁴【訳者注】1961年～67年まで計画された経済計画。社会主義工業化を実現し、社会主義工業国家に転化させ、人民生活を画期的に高めることが目標であった。3年延長の末、1970年に終了。

⁵【訳者注】1949年、ソ連の主導のもとで東ヨーロッパ諸国を中心とした共産主義諸国（東側諸国）の経済協力機構として結成された。北朝鮮はオブザーバーとして参加するのみで、正式参加はしていなかった。1991年6月に解散した。

年代後半期から、民族経済を主体化、現代化、科学化することに対する戦略的路線を提示し、社会主義の物質技術的土台をより一層しっかりと固めた。この路線の正当性は朝鮮が1970年代後半と1980年代に世界の政治情勢がどのように複雑多難で経済状況が苦しい中でも、社会主義優越性をより一層力強く誇示し、人民生活を絶えず高めたことで明確に実証された。

自立的かつ主体的な民族経済のしっかりした土台があって、朝鮮は1990年代に社会主義市場が崩壊して、帝国主義者の経済封鎖策動と孤立圧殺策動が前例なく強化される中でも社会主義制度を守り、社会主義強盛大国建設のしっかりした跳躍台を用意することができた。

1990年代末に金正日総書記は金日成主席が一生を捧げて用意した自立的民族経済のしっかりした土台に基づいて、社会主義強盛大国を建設する構想を提示して、その実現のために朝鮮人民の闘争を賢明に指導した。そうして朝鮮の民族経済の自立性と主体性はより一層強化された。特に人民経済先行部門⁶であり基礎工業部門である電力、石炭、金属工業、鉄道運輸の物質技術的土台がより一層強化された。電力、石炭、金属工業、鉄道運輸部門の発展は朝鮮経済の全部門の生産を高い水準で正常化するうえでの前提条件となるだけでなく、自国の資源と技術に基づいて原料と燃料、資材と動力の問題を解決させることによって、民族経済の自立性と主体性を強化するうえで大きな意義を持っている。

去る10余年間だけでも朝鮮には安迎青年発電所、泰川発電所、漁郎川発電所、三水発電所、礼成江青年発電所、元山青年発電所、寧遠発電所をはじめとする大規模な水力発電所と中小型発電所が無数に建設された。朝鮮では経済発展に切実に要求される電力問題を円満に解決するために、新しく建設された発電所の生産を正常化し、既存の水力発電所と火力発電所の設備を整備・補修し、または近代化して、電力生産量を増やすための対策を講じている。

金融危機によって、世界が経済発展に必要な原料、燃料の供給において深刻な混乱を受け、支障をきたしているが、朝鮮では自国の原料、燃料に基づいて経済を安定的に発展させている。朝鮮の石炭工業部門においては、増加する国家投資を効果的に利用し、探査と掘進を前面に出して、予備採炭場⁷を十分に確保し、人民経済のさまざまな部門に

において要求する石炭を円満に供給している。金属工業部門では現行の生産を行うと共に重要金属工場の改造、現代化補修と金属工業の主体性を実現するための事業⁸を重点的に推進している。最近、朝鮮では主体鉄⁹の生産方法が積極的に導入されることによって、金属工業の主体性が最も強化された。

朝鮮の鉄道運輸部門においては、国の全般的な鉄道の軌道強度が向上し、輸送手段(車両)が整備保守されたし、輸送組織と指揮が改善されて鉄道貨物の輸送量が過去と比べてはるかに増加した。化学工業部門でも自国の原料に基づいて、基礎化学製品を生産する生産工程が無数に作られた。

朝鮮では、世界的な食糧危機、金融危機に対処して、朝鮮労働党が提示した農業革命方針を堅持し、人民の食べる問題、食糧問題を自国で解決するための闘争を繰り広げてよい成果を達成している。

それ以外にも、朝鮮では輸入燃料のコールクスと石油に依存しない現代的なマグネシアクリンカー生産工場を設け、マグネシアクリンカー工業の主体性を強化したことを始めとして、自国の資源を積極的に開発し、自国の資源に基づく新しい生産部門をさらに多く創設して、輸入原料、燃料に基づく工業部門を国内産原料、燃料に基づく工業部門へと、その構造を切り替える事業が積極的に推進された。このように朝鮮は、民族経済の自立性と主体性を強化するための事業を一貫性をもって進めていくことによって、米国の金融危機として始まった世界経済危機の否定的な影響を受けずに国内経済を安定的に発展させている。

朝鮮の国内経済が金融危機の影響を受けていないのは、第二に、朝鮮が国家と人民の需要を基本的に自国の生産で保障するためである。朝鮮の民族経済は、あくまでも国家と人民の需要を自国の生産として充足させることを目的とする。過去に朝鮮は、国を富強にして人民生活を高めることに必要な重工業および軽工業製品と農業生産物に対する国内需要を基本的に自国で生産、供給することができるよう、民族経済を多面的にそして総合的に発展させてきた。

しかし、過去に世界の多くの国は、米国の「世界化」戦略に追随して、対外依存度が高い「輸出主導型」の経済を建設した。結果として、これらの国において再生産は国内的範囲でなく世界的範囲のなかで実現可能になった。つまり特定の産業だけを発展させて、その生産物を輸出して得

⁶【訳者注】北朝鮮は1990年代以降、電力、石炭、金属工業、鉄道運輸の4部門を「人民経済の先行部門」と表現し、優先的に整備をはかってきた。

⁷【訳者注】これから採炭をする坑または坑道のこと。

⁸【訳者注】北朝鮮ではコールクスを作る粘結炭が産出されないため、輸入に頼っている。コールクスを使用しない製鉄法を採用すれば、国内資源での鉄鋼生産を行うことができることから、最近では直接還元製鉄法などコールクスを使用しない製鉄技術の研究、開発が進んでいる。

⁹【訳者注】コールクスを使用しない製鉄法を総称して、「主体鉄」と読んでいる。

た資金で必要なものを輸入する方法で再生産が実現された。しかし、今回の金融危機によって、世界の全般的な需要が縮小したことにより、輸出が不振となり、当該国の経済が沈滞状態に陥ることとなった。

国家と人民の需要を基本的に自国の生産によって充足することができるように経済が建設され発展することは、朝鮮の民族経済の優越性の一つである。朝鮮の民族経済は、社会主義の自立経済であり、社会主義下で経済発展は社会主義経済法則の規制的作用を受ける。社会主義下において、生産の目的は絶えず増える人民の物質的および文化的需要を充足させることにある。社会主義の基本経済法則、人民経済の計画的・均衡的發展法則、社会主義の経済発展の絶え間ない高い速度の法則をはじめとする社会主義の経済法則は、主に国と人民の需要を円満に充足させられるよう経済を建設し、発展させるよう規制する作用をする。

朝鮮では、社会主義の経済法則の規制的作用の下に国家と人民の生存に必要なものを自国でつくり出せるよう、国内需要と密接に結び付けて、経済を発展させてきた。自立経済は、自国の資源と技術によって動く。自立経済を動かすことに参加する資源と技術は、基本的に自国のそれで成り立ち、それに対する需要は自立経済の発展過程によって絶えず増える。これは、国内需要の成長をもたらす、自立経済はこの需要を円満に充足できるように自国の体制を絶えず強化して発展する。

自立経済を動かす生産要素だけでなく、その部門構造も国内需要と有機的に連結している。朝鮮の民族経済の部門構造は、主に国内需要に応じて成り立ってきたし、多面的に発展したすべての部門は国内の範囲で有機的に連結された一つの総合的な体系を成し遂げて発展してきた。つまり多面的に発展した自立経済の部門が有機的に連結して、国内の増えるさまざまな需要を充足させてきた。これは、朝鮮の民族経済においてすべての部門の有機的関係と総合的發展がさまざまな国内需要を反映しており、国内需要と連結して成り立つということの意味している。

朝鮮の民族経済体系は、生産の人的および物的要素を自国で供給するだけでなく、民族国家内部において生産消費的関係が完結して、独自に拡大再生産を実現していく経済体系である。民族経済の拡大再生産のためのすべての構成部分は密接に関連しており、したがってどちらか一つの構成部門での隷属性は全般的な民族経済の自立的発展を遮

る結果をもたらす。

生産と流通は、民族経済の再生産のための基礎的な契機である。もちろんここで主導的なのは生産である。再生産において、生産と流通は離すことができない関係にある。流通側において自立性を持つことが出来ない経済は、生産でも自立性を持つことができなくなる。それは、生産過程の絶え間ない繰り返しと更新、拡大のためには、生産された生産物が分配され、流過程を通して実現されなければならないためである。

朝鮮では、主に国と人民の需要を対象にして生産、分配、交換、消費の契機と部門間の関係が有機的に成り立つようにすることによって、対外市場の否定的影響を基本的に排除して、再生産過程を国内の範囲の中で有機的に結びつけ、また物質的生产部門を絶えず速く発展させてきた。

ある民族経済が、対外市場に対して依存度が高い場合、再生産の行程は外部の経済的影響による波動を免れなくなる。自国の経済において、基本的であり重要な意義を持つ生産手段を対外市場に依存すれば、そのような生産手段の供給条件、価格水準などが再生産過程に大きな影響を及ぼして、外部の経済的波動が自国の経済の再生産過程にすぐさま反映されることになる。生産が上下して周期的に沈滞の危機を経ることは、資本主義経済の法則的現象であり、資本主義市場に依存度が高い経済は資本主義経済のこのような影響を免れことができなくなる。世界市場が形成されて、一つの国から始まった経済恐慌がお互いに市場で依存関係にある多くの国の経済に影響を与え、経済恐慌を国際化して世界経済恐慌の歴史が始まるようになった事実と、現時期米国の金融危機によって起きた経済波動が市場を媒介として、多く国の経済に深刻な影響を及ぼしている事実がそれをよく示している。

現実には、主に国家と人民の需要を自国で充足させられるように民族経済を発展させるとき、世界的な金融危機の中でも拡大再生産を独自に絶えずはやく実現していくことができるということを示している。朝鮮は、過去にもそうだったように今後も民族経済の自立性と主体性を強化して、自国と人民の需要を自国で充足させる経済、世界的などのような経済危機にも微動もしない経済を建設していこう。

[朝鮮語原稿をERINAにて翻訳]

※2009年9月原稿受理